

上段の丘



一関市立川崎中学校 学校だより
令和8年7月10日 第7号
文責 校長 齋藤 真

1学期終わりに向けてイベントラッシュ！

どの講師の方からも、「校舎がとてもきれいですね！」と褒められました。流石、清掃文化を大切にする川中です！

全校合唱練習、始まる

6月29日(月)から、全校の合同合唱練習がスタートしました。今回の練習を取り仕切るのは、2年生！次代を担う中堅学年が、リーダーとして全校合唱を引っ張ります。

1年生は2年生の指示をしっかりと聞きながら歌に取り組み、3年生は2年生のリーダーシップを見守りながらの練習となっています。

合唱をご披露する秋の文化祭はまだ先ですが、時間をかけて歌を練り上げていくのは、川中の合唱文化の素晴らしい特徴だと思います。

ミドルリーダーが牽引する新たな挑戦にも期待です。



心に響く読み聞かせ

7月第2週は、読み聞かせ週間として、朝の時間に町内の読み聞かせボランティアの方々にお越しいただき、お話を聞かせていただきました。お話のジャンルは、怪談話を基にした漫談、海外童話から学ぶ教訓、先人が描いた絵と詩から生き方を考える等、学年によって様々でした。読み聞かせの方々の語り口がとても素晴らしくてお話に引き込まれ、あっという間の朝の一時でした。

読み聞かせは、一度で理解するというよりも、何度も聞いたり、思い出したりして、お話の大切な部分を探して見つけていくものだと思います。ぜひまた聞きたいですね。

命の重さを知る～思春期講演会

7月6日(月)の5・6時間目、3年生を対象に思春期講演会を開催しました。講師は、ひとみ助産院の加藤 瞳院長。最初に、今学んでおくべき性教育についてお話しいただき、後半は14億分の1の確率で生まれる命の奇跡、そして生まれた命の重さを体感することにより、命というものの尊さを学びました。正しい性の知識をしっかりと持つことは、自分を、相手を、命を大切にすることに結びつく

と理解した3年生でした。



宇宙の不思議～ILC講座



7月7日(火)

七夕に相応しい、宇宙に思いを馳せる ILC 講座が開催されました。講師は、岩手大学教育学部の馬渡 健太郎教授。科学の話は、スケールの大小を行ったり来たりする、不思議な感覚になる話でした。分かるようで、分からない。しかし、全く分からないかと言われれば、ちょっと分かるような気がする。自分と宇宙のつながりを見つめる大学講義のような講座でした。

社会人としてのマナーを学ぶ～社会体験事前学習

7月9日(木)の5・6時間目、2年生は社会体験事前学習の時間でした。

2学期の8月24日～28日に行われる社会体験学習に先立ち、身に付けておくべきマナーを学ぶ授業です。ジョブカフェ一関の講師 はらた ゆきひろ さんから、働くことについて具体的なお話を聞いて、それからマナー実習を行いました。「稼ぐために働く」「払うために働く」「支え役立つために働く」「夢を叶えるために働く」。この4つの働く意義は、生きていくうえで働くことの大切さを伝えてくれました。この他にも、「社会で一番大事なものは、『聴く力』。気持ちを読み取るきき方。」「社会では学校のように教えてくれる人はいない。だから自分で考え、判断し、実行しなければならない。」「苦労は財産」など、たくさんのいいお話を聞くことができました。2年生だけでなく、他学年にも共有したいので掲載します。

